

2019年5月9日
パナソニック株式会社

パナソニックと中国・GSソーラーが太陽電池事業で協業

パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社は、このほど、中国太陽電池メーカーのGS-Solar(China) Company Ltd.(中国名称:鈞石(中国)能源有限公司、本社:福建省泉州市、以下GSソーラー)と、太陽電池事業で協業することに合意しました。当社はソーラー事業の子会社であるパナソニック エナジー マレーシア株式会社(以下、マレーシア工場)を譲渡するとともに、太陽電池の研究開発機能を分離して新会社を設立し、GSソーラーと共同で出資、運営します。

当社が生産している太陽電池モジュール HIT[®]用セルは、アモルファスと単結晶のシリコン太陽電池を組み合わせた当社独自のヘテロ接合型太陽電池で、高い変換効率、温度上昇による性能低下が少ない優れた高温特性、両面発電等の特長があります。

GSソーラーは、ヘテロ接合型太陽電池の研究・開発・生産を行い、高い研究成果を生み出しているメーカーです。

両社は、今後グローバルに成長が期待される太陽電池業界において、協業により、お互いの技術や生産ノウハウを有効活用し、付加価値の高い製品を開発することで、ヘテロ接合型太陽電池の更なる発展が可能になると判断し、合意に至りました。

今回の合意で、当社は、ソーラー事業の開発・生産体制を最適化するとともに、現在、マレーシア工場で生産している太陽電池モジュールをこれからも調達・販売します。これにより、創出した成長リソースで、HEMS^(※1)、太陽電池モジュール、蓄電池、エコキュート、EV充電等を組み合わせたエネルギーソリューション事業へと転換。ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)^(※2)の拡大、ポストFIT^(※3)時代に適した電力マネジメント、自然災害に対する非常用電源普及に努めていきます。また、新会社では、ヘテロ接合技術をさらに進化・発展させることで、太陽電池の競争力を強化していきます。

なお、日本や米国の当社ソーラー生産拠点は継続していきます。^(※4)

パナソニックはこれからも、創蓄エネルギーマネジメントシステムの発展拡大によって、快適で豊かなくらしの実現に貢献していきます。

※1:ホームエネルギーマネジメントシステムの略。家庭で消費・創出するエネルギーを見える化したり、また家庭内で消費するエネルギーを最適に制御することで、エネルギーを管理するシステムのこと。

※2:外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅。

※3:固定価格買取制度(Feed-In-Tariff)の略。「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」は、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度。

※4:二色の浜工場は車載モジュール、島根工場はセルと周辺機器、米国バッファロー工場はセルとモジュール、福島工場は時計、電卓向け民生用太陽電池を生産しています。

■新会社概要(予定)

会社名:未定

本社所在地:大阪府貝塚市二色南町 15-2

設立時期:未定

事業内容:ヘテロ接合型太陽電池の研究開発

出資金額:未定

出資比率:GSソーラー90%、パナソニック 10%

■GSソーラー概要

会社名:GS-Solar(China) Company Ltd.

钧石(中国)能源有限公司

本社所在地:中華人民共和国 福建省 泉州市

事業内容:ヘテロ接合型太陽電池及び周辺機器の研究開発、生産、販売

■マレーシア工場概要

会社名:パナソニック エナジー マレーシア株式会社

Panasonic Energy Malaysia Sdn. Bhd.

所在地:マレーシア ケダ州 クリム ハイテクパーク工業団地

設立時期:2011年12月

生産品目:太陽電池モジュール HIT[®]及び関連部品の生産

(ウエハ、セル、モジュールの一貫生産)

以上